



夏季死亡災害ゼロ101日運動通信

【運動期間：令和4年6月1日～令和4年9月9日】

令和4年
8月号

死亡災害が発生しました

令和4年6月末に、当署管内において、死亡災害が発生しました。

《建設業(その他の建築工事業)》○事故の型:墜落・転落 ○70代男性(経験年数40年以上) ○起因物:足場
○災害発生の概要:住宅の屋根の塗装作業を足場上で行っていたところ、足場の外側の約3.8m下の地面に墜落し、その後死亡した。足場には手すりは設けられていたが、中さんは設けられていなかったもの。

各事業者の皆様におかれましては、より一層気を引き締めて、死亡災害はもとより労働災害防止対策の徹底をお願いします。

8月も「STOP！ 熱中症 クールワークキャンペーン」期間です！

当署管内において休業を伴う熱中症が発生しています。少しでも異変を感じた場合は、速やかに休憩し、ためらうことなく病院に搬送しましょう。キャンペーン期間中の実施事項は以下のとおりです。

STEP 1 □ WBGT値の把握(JIS規格に適合した指数計で測定しましょう。)

STEP 2 測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

熱中症
予防情報



□ WBGT値を下げるための設備の設置	WBGT値を下げるための設備の設置や、通気性の良い服装を検討しましょう。休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。
□ 休憩場所の整備	
□ 通気性のよい服装など	WBGT値が高いときは <u>単独作業を控え、作業の中止、こまめに休憩をとる</u> などの工夫をしましょう。
□ 作業時間の短縮	
□ 熱への順化	暑さに慣れるまでの間は <u>十分に休憩をとりましょう。</u> 特に、 <u>入職直後や夏季休暇明けは注意が必要です。</u>
□ 水分・塩分の摂取	のどが渴いていなくても <u>定期的に水分・塩分をとりましょう。</u>
□ プレクーリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。
□ 健康診断結果に基づく措置	<u>①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢</u> などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。
□ 日常の健康管理など	管理者は、前日お酒を飲みすぎているか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんととったか確認しましょう。熱中症の具体的症状について説明し、早く気が付くことができるようにしましょう。
□ 労働者の健康状態の確認	作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。

STEP 3 巡視などにより、WBGT値の低減対策の実施の有無や各事業者の体調や水分塩分補給の状況等について確認しましょう。

労働災害発生状況(令和4年6末日時点)

- ◆令和4年6月末現在の休業4日以上労働災害発生件数は66件で前年比+3件(+4.8%)となっています。
- ◆事故の型別では、転倒が18件で全体の27%を占めており、次いで墜落・転落が10件(15%)、はさまれ・巻き込まれが8件(12%)となっています。
- ◆業種別では、製造業が18件で全体の27%を占めており、次いで運輸業が9件(14%)、建設業5件(8%)、商業4件(8%)となっています。

災害事例

《食品製造業》 ○事故の型:高温・低温の物との接触
○50代女性(経験年数15年) ○休業見込み:4日
工場内で作業中に体調不良を訴え倒れた、病院で熱中症と診断されたもの。工場内は蒸し暑く扇風機が設けられていた。

《セメント・同製品製造業》
○事故の型:墜落・転落
○70代男性(経験年数39年) ○休業見込み:3か月
トラックから降車する際に、足を踏み外し、乗車階段から転落し負傷したもの。災害発生時は雨が降っていた。



一関労働基準監督署

